

**製品名: Pcdcd-4 (リン酸化 Ser457) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05222**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	51kDa

**抗原情報**

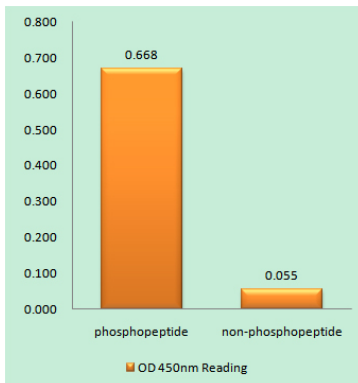
遺伝子名	PDCD4
別名	PDCD4; H731; Programmed cell death protein 4; Neoplastic transformation inhibitor protein; Nuclear antigen H731-like; Protein 197/15a
遺伝子 ID	27250.0
SwissProt ID	Q53EL6
免疫原	抗血清は、Ser457 のリン酸化部位周辺のヒト PDCD4 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 420-469

**背景**

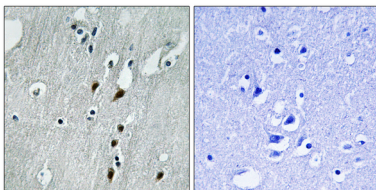
この遺伝子は腫瘍抑制因子であり、真核生物翻訳開始因子 4A1 に結合し、RNA 結合を阻害することでその機能を阻害するタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010 年 12 月]、注意：ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、疾患：発現の喪失は、肺癌および結腸癌の腫瘍進行と関連しています。、ドメイン：MA3 ドメインを介して EIF4A1 に結合します。、機能：腫瘍抑制因子。腫瘍プロモーター誘導性の腫瘍性形質転換を阻害します。MAP4K1 の発現をダウンレギュレーションすることで、浸潤を促進する上で重要なイベント、すなわち MAPK85 の活性化とそれに伴う JUN 依存性転写を阻害します。アポトーシスにおいて役割を果たす可能性があります。EIF4A のヘリカーゼ活性とキャップ依存性翻訳を阻害します。RNA に結合します。誘導：IL2 刺激は発現を抑制し、IL12 刺激は発現を増加させます。、配列注意：コンタミネーション配列。ポリ A 配列の可能性もあります。、類似性：PDCD4 ファミリーに属します。、類似性：2つの MI ドメインを含みます。、細胞内局在：核と細胞質の間を往復します。通常の増殖条件下では主に核内に局在します。血清非存在下では核から輸送されます。、サブユニット：EIF4A1 および EIF4A2 と相互作用します。、組織特異性：増殖細胞で発現が上昇します。乳腺上皮細胞で高発現します。、

## 研究分野

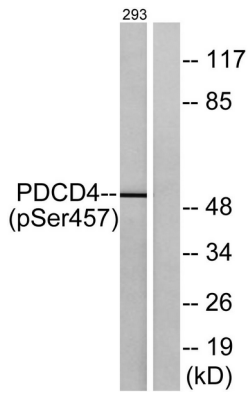
## 画像データ



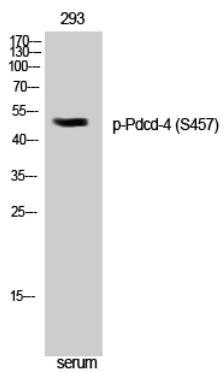
PDCD4 (リン酸化 Ser457) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



PDCD4 (リン酸化 Ser457) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



血清 20% 15' で処理した 293 細胞ライセートの PDCD4 (リン酸化 Ser457) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 Pdcd-4 (S457) ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析